

2023年4月5日

講習会主管者および指導員 各位

日本ライフセービング協会
JLA アカデミー本部長 佐藤洋二郎

各種講習会の今後の開催方針について

新型コロナウイルスに係る社会情勢の変化に合わせ、JLA アカデミー資格認定講習会における感染予防対策において、下記の通りといたします。

講習会主管者ならびに指導員の皆様は、内容をご確認の上ご対応くださいますようお願い申し上げます。

記

1.講習会開催時の感染対策

- (1) 新型コロナウイルスを始めとした感染症への対策は、可能な限り講じてください（会場の換気等）。
- (2) マスクの着用については、受講生、指導員、スタッフ共に任意といたします。
ただし、使用施設においてマスク着用の義務や、その他感染症対策について義務が課されている場合は、この限りではありません。

2.講習会の開催形態について

引き続き、e-learning 対応の講習会については継続して開催可能といたします。

詳細は『**e-learning 講習会開催マニュアル.pdf**』をご参照ください。

《重要》

ベーシックサーフライフセービング講習会は、**e-learning を用いても、3日間で開催することはできません。**
あくまでも、『e-learning 対応にすることで、**4日間で BLS,WS,ベーシックサーフの 3 資格を同時取得できる**』というものです。e-learning を用いても、ベーシックサーフ講習を3日（検定時間を除けば実質2日）で修了させるのは**認められていません**。『**e-learning 講習会開催マニュアル.pdf**』をよくお読みの上、開催計画を立ててください。

3.講習指導内容

人工呼吸の扱いについて、下記の通りといたします。

●BLS 講習会

- ・人工呼吸は引き続き指導しない。

《理由》

- ・救急蘇生法の指針 2020 でも、一般市民への人工呼吸指導はマストではないこと。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、人工呼吸の実施については慎重な議論が進められていること。
BLS 講習会は一般市民を対象に実施しているため上記2点を重視しました。

●サーフライフセービング、プールライフガーディング（PLG）講習会

- ・ベーシックサーフ LS 講習会、PLG 講習会ではレサシテーションマスクの使用法についてのデモンストレーションを行う。
- ・アドバンス講習会では、これまで通りレサシテーションマスクを使用し、受講者の習得は必須とする。
※レサシテーションマスクはフィルター付きのものを使用すること

4.その他

今後危険性や流行ピークの予想が変更された場合は、予告なく講習会の再開等、見直す可能性があります。

以上

【お問い合わせ】

公益財団法人 日本ライフセービング協会
事務局 担当：川名健太郎
メールアドレス academy@jla.gr.jp



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会